

抗がん剤治療(化学療法)を 受けられる患者さまへ

－ 特に注意が必要な副作用について －

抗がん剤による治療中には様々な副作用が出現することがあります。ご自身やご家族で治療後の副作用や状態に注意し、気になることは医師や看護師、薬剤師に相談してください。

また、重大な副作用の初期症状となる ①発熱 ②下痢 ③息苦しさ・咳 について対応方法を記載していますので参考にしてください。

その他、『食事や水分が取れない』『意識がもうろうとする』『痛みが激しい』など、治療の前後で全身状態が悪くなっていると感じた場合やご自宅で不安に感じること、その他の副作用が出現した場合にも、遠慮なく病院に連絡をしてください。

電話では、下記の内容を伝えてください

- ① 氏名
- ② 診察券に書かれているID番号
- ③ 抗がん剤治療中であること
- ④ 抗がん剤治療を受けている診療科
- ⑤ いつからどのような症状があるか
(体温、食事の有無、排便の状況、呼吸の状態など)

【大阪医科薬科大学病院への連絡先】

電話番号 **072-683-1221** (代表)
平日 8時30分～16時50分 各科外来
休日・夜間 16時50分～翌8時30分 各科当直医

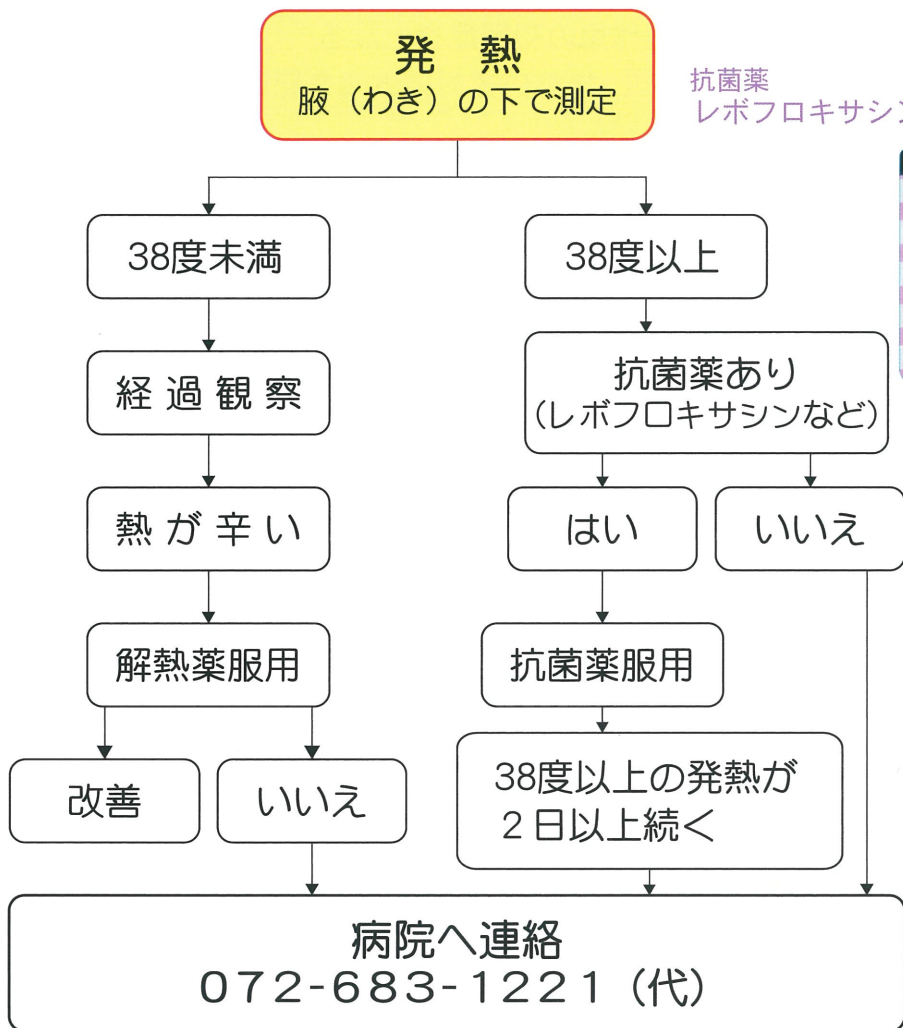
① 発熱

熱が出た場合は、感染症が疑われますが、その他の原因でも熱が出る場合があります。抗がん剤の種類にもよりますが、抗がん剤投与後10～14日後に免疫に関与する白血球が少なくなり感染症にかかりやすくなります。

体温は1日3回くらいを目安に測りましょう。

発熱 腋（わき）の下で測定

抗菌薬
レボフロキサシンなど



② 下痢

下痢とは、水分量の多い液状または泥状の排便が頻回に出る状態をいいます。通常と比べて、1日の排便回数が4回以上に増えた場合は注意が必要です。抗がん剤以外の原因で起こる場合もあります。

下痢になった場合には、刺激のある食品の摂取を避け、水分をこまめにとるようにして脱水に気をつけましょう。

ロペラミド（下痢止め）は、最低2時間以上間隔をあけて服用してください。

また、下剤を服用している際は、念のため中止してください。

ロペラミドカプセル



下痢

1日4回以上の排便回数の増加

ロペラミドを服用

2時間後改善？

改善

いいえ

ロペラミドを再度服用

2時間後改善？

改善

いいえ

ロペラミドがない

病院へ連絡

072-683-1221 (代)

③ 息苦しさ・咳

息苦しさや咳は、もともとの肺の病気や感染症等からくる肺炎の初期症状の可能性があります。

特に注意を必要とするものに、使用した薬剤が原因で起こる肺炎（間質性肺炎）があります。間質性肺炎の初期症状は発熱や空咳、息苦しさ等があります。

